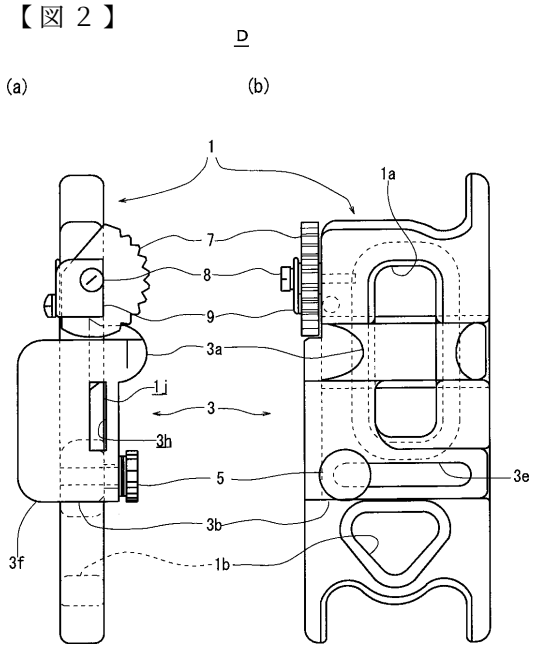
【公報種別】実用新案法第１４条の２の規定による訂正明細書等の掲載
【部門区分】第１部門第４区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

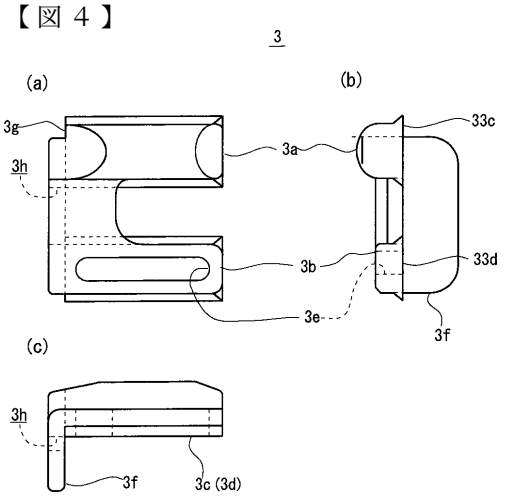
【登録番号】実用新案登録第3128353号(U3128353)
【訂正の登録日】平成19年3月26日(2007.3.26)
【登録公報発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)
【出願番号】実願2006-8626(U2006-8626)
【国際特許分類】
Ａ６２Ｂ　1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６２Ｂ　1/14　Ａ
Ａ６２Ｂ　1/14　Ｂ

【訂正書】
【提出日】平成19年3月14日(2007.3.14)
【訂正の目的】誤記の訂正
【訂正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
本体と、上記本体に取り付けられるスライダと、上記スライダの進退動作を規制する規制手段とからなり、
上記本体は、厚板状で概ね長方形状の上部側に長穴からなるロープ穴が設けてあり、下部側には使用者とロープとを繋ぐ保持綱を結着するカラビナ穴が設けてあるとともに、当該本体の一方の面には上記スライダを上記ロープ穴の直交方向に摺動可能にする複数のスライド溝部が設けてあり、
上記スライダは、複数の脚部を有し、これらの各脚部には上記スライド溝部に係合可能なスライド部を備えているとともに、上記脚部のいずれかは上記ロープ穴の縦方向の中央部を横断可能としてあり、
上記規制手段は、上記いずれかの脚部以外の脚部に設けてある規制溝と、上記規制溝を通して上記スライダの移動を規制可能としてある止めボルトと、上記本体に取り付けてあるロータリーストッパとからなる
ロープ降下器において、
上記スライド溝部の断面形状は、上記本体の前面と面一になっている開口部と、当該開口部に続く内部拡大部とからなり、各上記スライド部の断面は各上記スライド溝部に係合可能な形状に形成してある
ことを特徴とするロープ降下器。
【請求項２】
請求項１において、上記スライド溝部の断面形状は「あり溝」であり、上記スライド部の断面形状は上記あり溝に対応する「あり」であることを特徴とするロープ降下器。

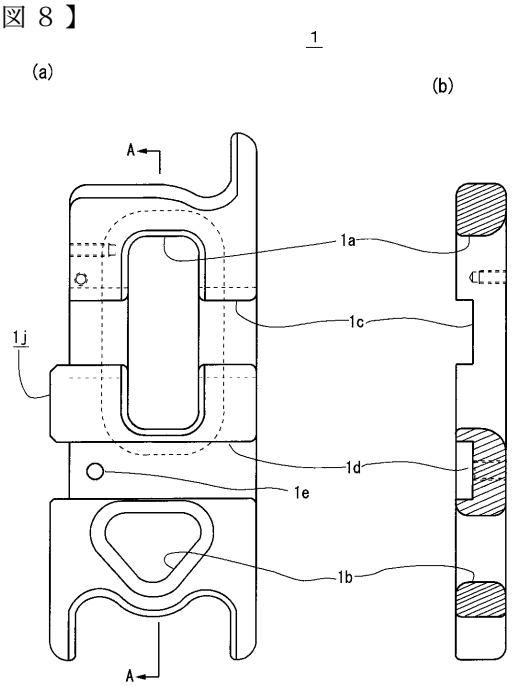
【図２】


D
(a)
(b)
1
1a
7
8
9
3a
1j
3
3h
5
3e
3b
3f
1b

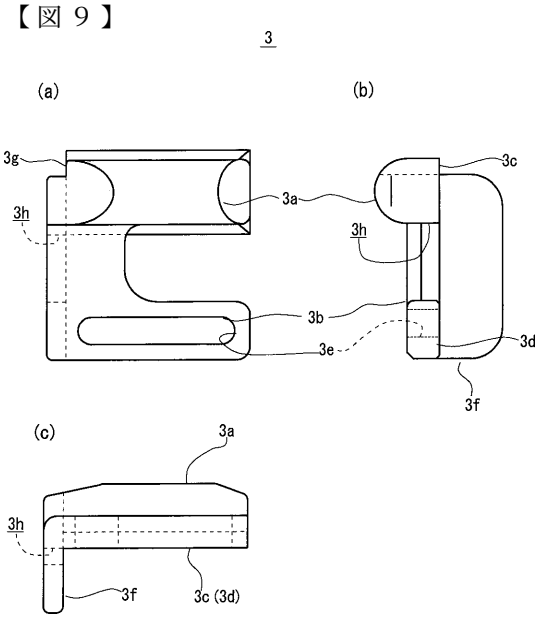
【図４】


3
(a)
(b)
3g
3h
3a
33c
3b
33d
3e
3f
(c)
3h
3f
3c (3d)

【図８】


1
(a)
(b)
A
1a
1c
1j
1d
1e
1b
A

【図９】


3
(a)
(b)
3g
3h
3a
3c
3h
3b
3d
3e
3f
(c)
3a
3h
3f
3c (3d)